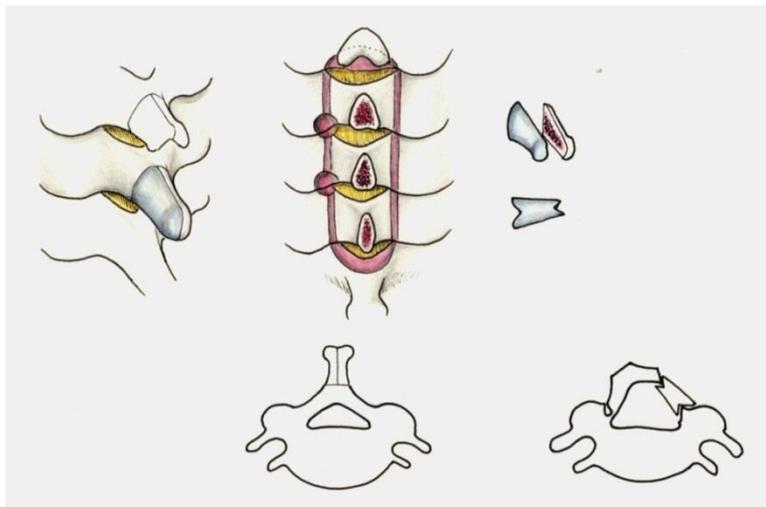


* 頸椎椎弓形成術

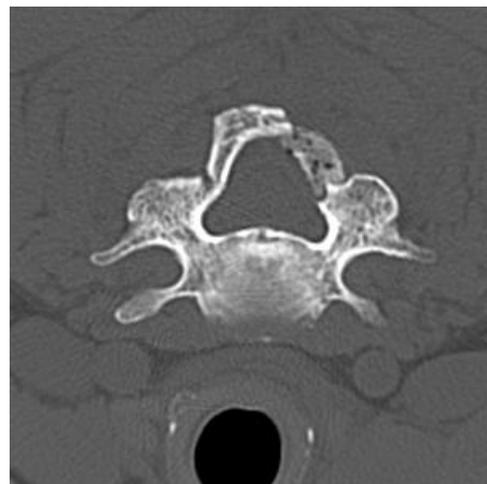
頸部脊髄症に対して主としておこないます。

頸部脊髄症は頸椎症によるものと頸椎後縦靭帯骨化症によるものがあります。

脊髄が圧迫されて歩行障害や巧緻障害(ボタンがはめられない、箸が使いにくい、字が書きづらい)などのミエロパチー症状がみられた場合は脊髄の除圧が必要です。当科では主に頸部の筋肉のダメージを最小限になるように愛護的操作で、局所骨を椎弓スペーサーに用いて椎弓形成術という手術を行っています。また手術操作による脊髄障害の発生を防止するために術中の脊髄モニタリングを実施しております。



片開き式頸椎椎弓形成術



術後CT